

広島平和記念式典に 参加して

8月5日(日)広島市で開催された広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式に、市が募集した「平和の作文」で入賞した中学生4人が参加しました。平和記念公園の慰霊碑、記念碑、原爆ドームの見学、そして原さん(語り部)による被爆体験を聞くなど、平和の尊さについて、改めて考える貴重な体験となりました。

問合せ 人権推進課☎(43)1111内線162・FAX(44)0257

参加生徒の「コメント」

■長瀬 マキさん(西中)

私は広島に行き、初めて原爆の本当の力を知りました。

原爆ドームを見た時に、人類はこのような兵器を開発してはいけなかったんだと、心の底から思いました。

被爆者の原さんは、原爆は3000℃〜4000℃の熱を放出したと言っていました。4000℃というと、太陽と同じ温度です。

原さんは、私たちに戦争をしてはいけないという思いを託してくれました。

私たちはその思いに応えなければなりません。つぎの時代を創るのは私たちです。そのうち、戦争を知らない人ばかりの国になっていくのでしょうか。その中でも私は、託された思いを心に刻み、平和な国を創り上げていきたいです。

最後に原さんの言葉をお借りします。「平和とは、人を守ることを、人を守ることは平和を守ること」人が守られる国になることを願います。

■杉田 諒さん(東中)

僕は今回、広島に来て、被爆者の原さんの体験を聞いた。その話の中で、「広島が一瞬にして消え、広島に住む人のほとんどが亡くなった」という言葉と「僕が通っていた学校の生徒の3分の2以上亡くなった」という言葉がとても印象に残った。

3分の2という数字が通う中学校の4つのクラスと10人位がいなくなるということになる。もし僕がそんな時代に生まれていたら、絶対に立ち直れないと思う。その話の後、原さんに「今度は君たちが日本を作っていくんだ。平和についてほかの人に伝えていく、リー



▲原さん(語り部)の体験談を聞く生徒たち

ダーになつてほしい」と言われた。

僕は、この言葉を胸にしまつてリーダーになれるように努めていきたい。

■松原 亜美さん(幸手中)

「平和を守りたい、作っていききたい」と私は広島を訪れこの思いが強まりました。

平和記念資料館を見たり、原さんの話を直接聞いたりました。原爆によって多くの命が奪われたこと、多くの人にたくさんの悲しみを与えたこと。原爆の恐ろしさをこれまで以上に気が付かされました。

また、「君たちは将来、平和を守っていくリーダーとなる人たちだ」と言っていたきました。言われたこの言葉を忘れずに、平和を守っていく、そんな人になりたいです。

■渡辺 毅之さん(西中)

自分は今日、広島の前爆死没者慰霊式・平和祈念式に参加して、改めて平和の大切さや平和とはどのようなものか、ということを考えていることができました。



▲原爆ドームを背に集合写真

平和記念公園を歩いていると「受け取ってください」と核兵器の無い世界を訴える団扇や、広島に原爆が落とされて、このような被爆が出た、などといった内容のチラシを一生懸命配っている人がたくさんいました。ほかにも平和を願う歌も流れていました。僕は「やっぱり平和であることが一番大切なんだなあ」と思いました。

テレビでしか見たことのないような平和記念式典は、実際に参加してみると、遺族の方々や被爆者の平和への思いが伝わってきて言葉にできないものが心の中に残りました。

この夏休みに体験した貴重な経験を、これから生きていく中で常に考えていきたいと思っています。

(7)

ちょっと待って! そのごみは何ごみ?

チャレンジ! 燃やせるごみ減量化!!

続けることが
大切です!

みなさんのご家庭やお店などから排出される「燃やせるごみ」の多くは、ごみの出し方をより理解し、日ごろからリサイクル意識を持つことで減量につなげていくことができます。

まずは身近なところから「燃やせるごみ」の減量化にチャレンジしてみましょう!

※ごみの出し方などの詳細については、「健康・環境カレンダー」の21~31ページを参照するか、環境課までお問い合わせください。

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX (48) 2226

チャレンジ!

生ごみなどの
水切りを徹底しよう!

袋の底に、水分などが溜まっていますか?



生ごみなどの水分を含んだものは、ごみを出す前の水切りを徹底することで、大幅に減量することができます。また、食べ残しを減らすことも、ごみの減量化につながります。

チャレンジ!

資源ごみの分別を
徹底しよう!

紙類やプラスチック製の容器、プラマーク付きの包装などの資源物を、そのまま「燃やせるごみ」の袋へ入れていませんか?



資源となるプラスチックなどのごみを徹底的に分別することで、資源物のリサイクルに加え、「燃やせるごみ」の減量もすることができます。

チャレンジ!

事業ごみも減量!

お店などでも、分別をさらに徹底し、「燃やせるごみ」を減量しましょう。

再生可能な紙類については、燃やせるごみに入れないようにしてください。

また、お店の食品廃棄物については、食品リサイクル法に基づく処分の徹底をお願いします。

ごみ出しのルールとマナー

~ごみの分別徹底のお願い~



ご家庭から排出された「燃やせないごみ」の中には、「危険ごみ」が紛れ込んでいることがあります。

ごみ収集車による収集・運搬、ひばりヶ丘桜泉園の破碎処理施設内での選別・破碎処理作業過程において、「燃やせないごみ」の中にガスライターやガスボンベ、スプレー缶などの「危険ごみ」が混入していることがあり、これらに含まれている可燃性ガスが原因で、小規模な爆発などが発生することがあります。

作業員の安全確保や火災予防などのためにも、「燃やせないごみ」・「有害ごみ」・「危険ごみ」の分別の徹底について、ご理解とご協力をお願いします。

「燃やせないごみ」の中に混入し、
爆発したライターと燃えかす

